

## 統計研修講義計画書

研修課程	産業連関表の作成・分析	講義科目	産業連関表の考え方	講義時間	5コマ
講師	菅 幹雄 総務省統計研究研修所客員教授・法政大学日本統計研究所長				

※1コマ70分

### 講義のねらい

産業連関表とは何かを説明した上で、初歩から産業連関分析を教える。

また、国民・県民経済計算は、いわゆる「SNA マニュアル」に典型的に示されているように、理論的に高度に精緻化された体系がある。その一方で、推計の基礎となる統計データは、SNA 推計という面では理想的とはほど遠く、その推計の際に頼りになったのが産業連関表であった。本講義では国民・県民経済計算の推計において、産業連関表がどのように貢献してきたのかを講義する。

### 指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
1. 産業連関表とは何か	1.1 産業連関表の概要 1.2 産業連関表のしくみ 1.3 ケネーの経済表 1.4 アクティビティーと部門分類 1.5 産業連関表の作成 1.6 異なる時点の表の接続 - 接続表 1.7 異なる地域の表の接続 - 地域間表
2. 行列の計算	2.1 ベクトルと行列 2.2 行列の掛け算 2.3 逆行列 2.4 連立一次方程式を解く - つるかめ算
3. 産業連関分析の初歩	3.1 産業連関分析の概要 3.2 仮想内生3部門表の例(1) 3.3 平成23年内生108部門表の例(1) 3.4 輸入内生モデル 3.5 仮想内生3部門表の例(2) 3.6 平成23年内生108部門表の例(2)
4. 国民・県民経済計算と産業連関表の推計・作成の歩み	4.1 国民経済計算推計の歩み 4.2 県民経済計算推計の歩み 4.3 産業連関表(全国表)作成の歩み 4.4 地域産業連関表作成の歩み
5. 国民・県民経済計算の推計における産業連関表の貢献	5.1 国民経済計算における産業連関表の位置づけ 5.2 コモディティー・フロー法 5.3 推計の基礎となった統計調査

### 講義形態 指導方法

講義およびパソコンを用いた演習。

### 受講に必要な 基礎知識等

エクセルを扱うことができること。

